

平成 22 年度 札幌北楡病院 院内研修 : レベル別研修

看護部教育委員会 H22. 4 月作成

研修名/日時 研修時間 (勤務表備考欄記載時間)	対象者	目 的	内 容
チームナーシング 1 /H23. 2 月 18 日 (金) 8:30~12:00 (3 時間) 13:00~17:00	レベル I~II これからリーダーを担う、またはリーダー経験が 1 年未満	1. 固定チームナーシングにおけるメンバーの役割を理解し、その機能と役割を十分に活かした看護を提供する 方法を学ぶ 2. 研修病棟において、チームで看護を考える実際を学ぶ	固定チームナーシングの定義と、チームメンバーの役割が理解できるよう、講義・グループワーク・実務研修を行う 午前：講義・グループワーク 午後：研修病棟で、カンファレンスの見学、さらに教育委員会で任命したリーダーⅢ以上のスタッフと行動する
チームナーシング 2 /H22. 11 月 19 日 (金) 8:30~12:00 (3 時間) 13:00~17:00	レベル II~III リーダー経験 1~3 年	1. 固定チームナーシングにおけるリーダーの役割を理解し、その機能と役割を十分に活かした看護を提供する方法を学ぶ 2. 自己の目標に取り組めるように、課題を明確にする	固定チームナーシングの定義と、リーダー・メンバーの役割の理解ができるよう、講義・グループワーク・実務研修を行う 午前：講義・グループワーク 午後：研修病棟で、カンファレンスの見学、さらに教育委員会で任命したリーダーⅢ以上のスタッフと行動する
チームナーシング 3 /H22. 7 月 16 日 (金) 8:30~17:00 (8 時間)	レベル IV 以上	1. 固定チームナーシングの看護体制をつくり、継続した看護を実践するための方法を学ぶ 2. 患者個々の療養環境を整え、必要な看護を提供するためのマネジメントの方法を学ぶ 3. 実践した看護の成果をチームで評価するプロセスを学ぶ	チームリーダーとして、チームで看護するための運営方法を考え、実践につなげられるように、講義・グループワークを行う
プリセプター 1 /H23. 3 月 4 日 (金) 8:30~17:00 (8 時間)	レベル II~III	1. プリセプターシップを理解し、プリセプターとして 新人への効果的な関わり方を学ぶ 2. プリセプティの特徴を理解することができる	プリセプターシップの概論を学び、プリセプティの目標設定方法と評価方法を理解できるよう、講義・グループワークを行う
プリセプター 2 /H22. 6 月 18 日 (金) 13:00~17:00 (4 時間)	レベル II~III	1. プリセプターの相互交流により、今後の指導の方向性が導き出せる 2. プリセプターとしての自己を振り返り、今後の課題を明確にする	プリセプターの相互交流を図るとともに、プリセプターの役割を学び、今後の指導に反映できるよう、講義・グループワークを行う
看護過程 1 /①H22. 9 月 17 日 (金) ②H22. 10 月 15 日 (金) ③H22. 12 月 3 日 (金) ④H23. 1 月 21 日 (金) ⑤H23. 2 月 4 日 (金) 8:30~12:00 (3 時間) 13:00~17:00	レベル I 経験 2 年目全員	1. 対象の理解と看護実践の基礎となる看護過程の概念を学ぶ 2. 安全・確実に看護が実践できる方法を考えることができる 3. 患者の健康問題を解決するための問題解決のプロセスを学ぶ	午前：講義・グループワーク 午後：研修病棟 参画型看護計画の考え方と実践方法を一つひとつの症状に対して、系統的にアプローチする方法を理解できるように講義・実務研修を行う

看護過程 2 ／H22. 11月26日(金) 13:00～17:00 講義1時間(3時間)	レベルⅡ～Ⅲ	1. 患者の健康問題を解決するための問題解決能力思考を学ぶ 2. 症状の原因・誘因、病態生理および、その症状が与える影響を見逃すことなく観察し、看護するための方法を学ぶ	系統的にアプローチし、看護するための考え方、実践方法とその成果を評価することができるように、講義・実務研修を行う
記録と看護 ／H23. 1月28日(金) 13:00～17:00(4時間)	レベルⅢ以上	1. 看護実践のプロセスと成果がわかる看護記録の方法を学ぶ 2. 看護を継続するための記録の方法を考える	これまでの記録を見直し、看護を継続するための方法を理解するため、講義・グループワークを行う
事例検討研修 1 ／H22. 7月23日(金) 13:00～17:00(4時間)	レベルⅢ～Ⅳ	1. 看護を考える時間を共有し、臨床における看護展開に活用するための実際を学ぶ	日常の看護展開を振り返るとともに、個別的な看護過程の考え方・展開方法を理解できるように、講義・グループワークを行う
事例検討研修 2 ／H22. 12月17日(金) 13:00～17:00(4時間)	レベルⅢ～Ⅳ	1. 看護の役割や継続看護を自己が実践できた事例を通して、看護の成果を振り返る 2. 事例検討を通して、自己課題に取り組む方法を学ぶ	事例検討研修1に参加したのち、看護の成果があった事例をまとめ検討する
血液透析患者の看護 ／H22. 6月15日(火) 8:30～12:00(3時間) 13:00～17:00	全てのレベル	1. 慢性腎不全の病態・合併症が理解できる 2. HD・PDの原理が理解する 3. 腎不全患者の指導を考慮することができる	1. 午前:講義(認定看護師) 2. 午後:AOCで実務研修
化学療法を受ける患者の看護 ／H22. 9月24日(金) 8:30～12:00(3時間) 13:00～17:00	レベルⅡ	1. 抗癌剤治療の種類と、その特徴を理解する 2. 抗癌剤の取り扱いや副作用(有害事象)と、その対処方法を考える 3. 感染予防対策を学ぶ(認定看護師)	当院で行われている化学療法の種類・特徴の理解と、その看護が学習できるように、講義・実務研修を行う 午前:講義・5病棟にて実際の場面を見学する。 午後:講義・5病棟無菌室の見学をする。
周手術期の看護 ／H23. 2月25日(金) 8:30～12:00(3時間) 13:00～17:00	レベルⅡ～Ⅲ	1. 周手術期看護の基礎的知識を学ぶ 2. 手術療法を選択した患者の手術から日常生活に戻るまでのプロセスにかかわる看護を理解する	当院で行われている手術療法の理解と、その看護を病態と関連させて考えることができるよう、講義・実務研修を行う 午前:講義 午後:研修病棟で実際の場面を見学する
血液疾患患者看護 ／H22. 8月6日(金) 8:30～17:00(8時間)	レベルⅢ～Ⅳ	血液疾患の病態を理解し、治療・合併症に応じた看護を学ぶ	血液疾患特有の症状に対して、理論的・系統的にアプローチし、看護を実践する方法を学習できるように講義・事例検討を行う。感染・褥瘡については、認定看護師が担当する。
既卒者および中途採用者	各個人のラダーレベルに合わせて所属長が判断し、研修に参加させる	1. 看護部目標が理解できる 2. 自部署の病棟目標・チーム目標を理解し、活動できる 3. マニュアルの理解ができる 4. 自己課題を客観的に捉え、自己研鑽できる	

看護補助者研修	対象者	目 的	内 容
/①H22. 7月2日(金) ②H22. 8月27日(金) ③H22. 9月3日(金) 8:30~17:00(8時間)	看護補助者	1. 看護補助業務を安全に行うための知識・技術を身につける 2. チームの一員として、適切な看護対応ができる	接遇技術を身につけ、自己の業務の根拠を理解できるよう講義・実技を行う